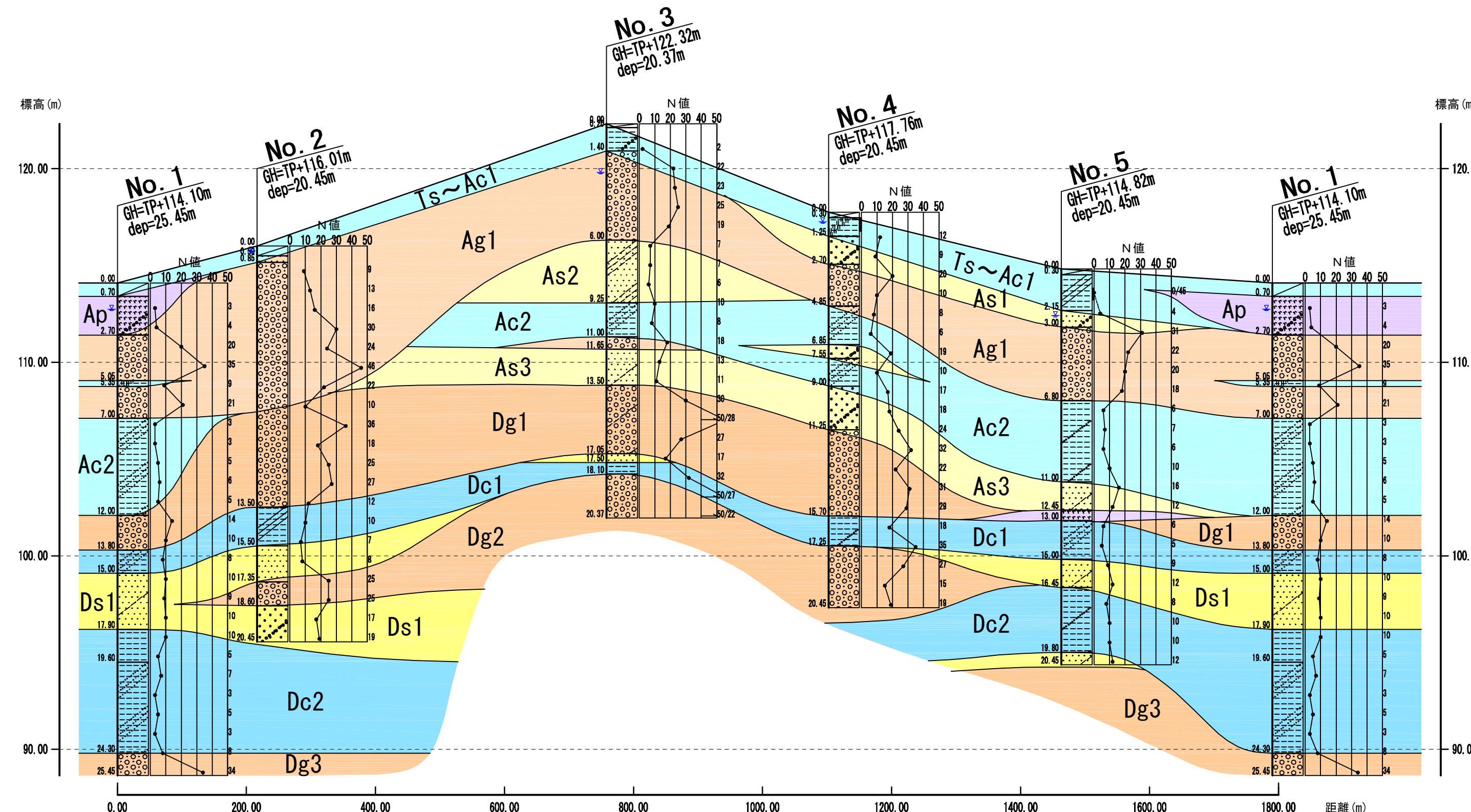


土層層序表

時代	区分名	記号	代表土質	記事		N値解析			
				最大	最小	平均	標準	設計	
現世・完新世	表層～沖積：第一粘性土	Ts~Ac1	粘土質シルト	・均質。腐植物混入。所々、小凹凸（φ10mm）混入。 ・含水中位。粘性土。所々に砂、腐植物若干混入。	3.00	0.00	1.50	-	1.50
	沖積：腐植土	Ap	礫混り腐植土	・No.1に認める。 ・規則にφ10～30mm程度の小凹凸混入。 ・部分的に含水高、未分解の腐植物多く混入。	4.00	4.00	3.50	-	4.00
	沖積：第一砂質土	As1	礫混り粗砂	・含水中位。土粒子不均一。 ・粒径φ50～20mmの小凹凸。 ・所々、礫少ない。色調は暗灰色。	16.50	4.00	9.83	-	9.83
	沖積：第一粘質土	Ag1	易軟	・含水低～中位。φ2～10mmの亜円礫混入。 ・一部細砂層。基質は粘土質粗砂主。 ・礫は、安山岩質・花崗岩質中心。	46.00	9.00	21.68	8.49	17.44
	沖積：第二砂質土	As2	シルト質粗砂	・No.3に認める。 ・含水中位。粒径不均一。 ・部分的に細砂層・砂質シルト層を薄く挟む。	7.00	6.00	6.50	0.58	6.21
	沖積：第二粘性土	Ac2	砂混りシルト	・含水低位。所々に微細砂、細砂を混入。 ・所々機質土。未分解の木片混入。 ・細砂・砂質シルト層を5～10cm程度に挟む。	20.00	3.00	7.35	4.78	9.75
	沖積：第三砂質土	As3	礫混り粗砂	・含水中位。土粒子不均一。小凹凸を混入。 ・礫：砂=8：2、色調は暗灰色を呈する。	18.00	11.00	15.00	2.94	13.53
	洪積：第一粘質土	Dg1	シルト混り砂礫	・含水高位。礫は10～30mmの円～亜円形中心。 ・最大粒径φ50mm程度。基質はシルト混り粗砂。 ・砂：礫=4：6程度。	53.57	10.00	26.24	10.77	20.85
	洪積：第一粘性土	Dc1	砂質シルト	・含水低位。均質。全体に有機物多く混入。 ・部分的に砂層を薄く挟む。	18.00	5.00	9.86	4.88	7.42
	洪積：第一砂質土	Da1	シルト混り細砂	・細砂主。粒径均一、含水低位。 ・一部で細砂を薄く挟む。腐植物混入。 ・部分的にシルトを薄く混入。色調は暗灰色。	19.00	8.00	12.75	4.16	10.67
更新世	洪積：第二粘質土	Dg2	砂礫	・最大粒径：φ70mm程度。基質はシルト混り砂。 ・所々、粘土を多く含有する。色調は暗灰色を呈する。	68.18	15.00	36.53	17.61	27.72
	洪積：第二粘性土	Dc2	砂質シルト	・全体に細砂を含有。均質。・含水低位。粘性弱。 ・キヤ留床質で硬質。シルト層を薄く挟む。 ・所々で砂多くシルト質粗砂。	10.00	3.00	6.70	2.75	5.32
	洪積：第三粘質土	Dg3	砂礫	・No.1に認める。 ・含水中～高位。礫は平均20～30mm。 ・最大粒径φ50mm程度の亜円形。基質は粗砂主。	34.00	9.00	21.50	-	21.50



工事名	(仮称)山形北インター産業団地開発事業に係る 基本設計及び地質調査(解析)等業務委託			
図面名	土層推定断面図			
年月日				
尺度	縦 1:200	横 1:6000	図面番号	1葉之内 1
会社名				
事業所名	東和測量設計株式会社			
作成者		版情報		